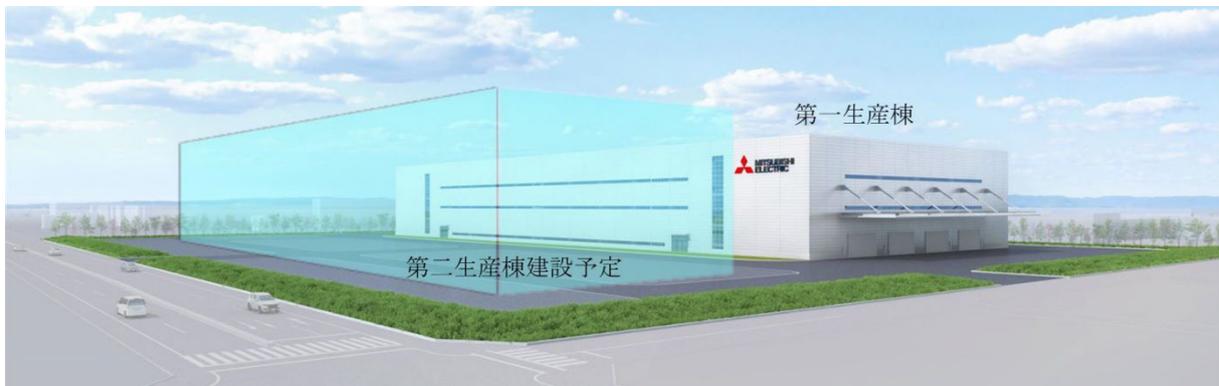


NEWS RELEASE

三菱電機 愛知県尾張旭地区に第二生産棟を建設
約 425 億円を追加投資し FA 制御システム製品の生産体制を強化



愛知県尾張旭地区 新生産拠点の完成予想図

三菱電機株式会社は、FA 制御システム製品の生産体制強化に向け、名古屋製作所の尾張旭地区（愛知県尾張旭市）に新生産棟（以下、第一生産棟）の建設^{※1}を進めています。新たに約 425 億円の追加投資（累計約 555 億円）を行い、第二生産棟の建設および生産設備投資を行います。第一生産棟は 2025 年 4 月から、第二生産棟は 2027 年 4 月から順次稼働を予定しています。

FA 制御システム市場では、EV（電気自動車）・リチウムイオンバッテリーなどの脱炭素関連分野や、半導体・電子部品などのデジタル関連分野を中心に、中長期的な需要拡大が見込まれます。当社は、これらの需要拡大に対応するため、名古屋製作所の尾張旭地区に建設を進めている第一生産棟に加え、今回、同敷地内に新たに第二生産棟を建設し、生産能力の増強を図ることで、FA 制御システム製品の生産体制を強化します。

第一生産棟・第二生産棟の概要

	第一生産棟	第二生産棟
所在地	愛知県尾張旭市稲葉町五丁目 1 番 1	
建築面積	約 11,200m ² (延床面積 約 33,600m ²)	約 6,000m ² (延床面積 約 30,000m ²)
構造	鉄筋コンクリート造(耐震) 地上 3 階建	鉄筋コンクリート造(耐震) 地上 5 階建
生産品目	FA 制御システム製品	
稼働開始	2025 年 4 月から順次稼働	2027 年 4 月から順次稼働
投資金額	約 555 億円 (内、今回の投資・約 425 億円には第一生産棟の設備投資を含む)	
脱炭素化の取り組み	「e-F@ctory ^{※2} 」を活用したエネルギー監視システム、LED 照明、太陽光パネル、ビオトープ	

※1 2022 年 3 月 28 日発表。https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2022/0328.html

※2 FA 技術と IT 技術を活用し、開発・生産・保守の全般にわたるトータルコストを削減する FA 統合ソリューション

新生産拠点の特長

新生産拠点は、第一生産棟（2025年4月稼働予定）と第二生産棟（2027年4月稼働予定）を併設し、物流動線の整流化による生産連携を図ります。FA 制御システム製品の次世代工場として、5G 通信と AI の活用に加え、FA 統合ソリューション「e-F@ctory」に基づいた高度な SCM、ECM^{※3} の構築により、生産性・品質の改善サイクルを高速化し、納期の短縮と高品質・高効率な生産を実現します。

当社のオートメーション技術活用による生産工程の自動化拡大に加え、AMR^{※4} の活用による物流の効率化や、生産現場のデジタルツイン化による同期生産推進などにより、需要変動に強い生産体制を構築し、お客様への製品安定供給を実現します。また、CO₂ 排出量削減の取り組みにより、カーボンニュートラル社会の実現にも貢献します。

お問い合わせ先

< 報道関係からのお問い合わせ先 >

三菱電機株式会社 広報部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号

TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431

< お客様からのお問い合わせ先 >

三菱電機株式会社 名古屋製作所

〒461-8670 愛知県名古屋市東区矢田南五丁目1番14号

TEL 052-721-2111 FAX 052-712-2290

※3 SCM : Supply Chain Management ECM : Engineering Chain Management

※4 Autonomous Mobile Robot (自動搬送ロボット)